

宮崎県感染症週報

■ 宮崎県第29週の発生動向

定点医療機関からの報告総数は1,337人(定点あたり38.7)で、前週比87%と減少した。

前週に比べ増加した主な疾患は流行性耳下腺炎で、減少した主な疾患は伝染性紅斑であった。

流行性耳下腺炎の報告数は95人(2.6)で前週比170%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値(2.0)の約1.3倍である。宮崎市(5.7)、高鍋(4.0)保健所からの報告が多く、年齢別では3歳から5歳で全体の約半数を占めた。

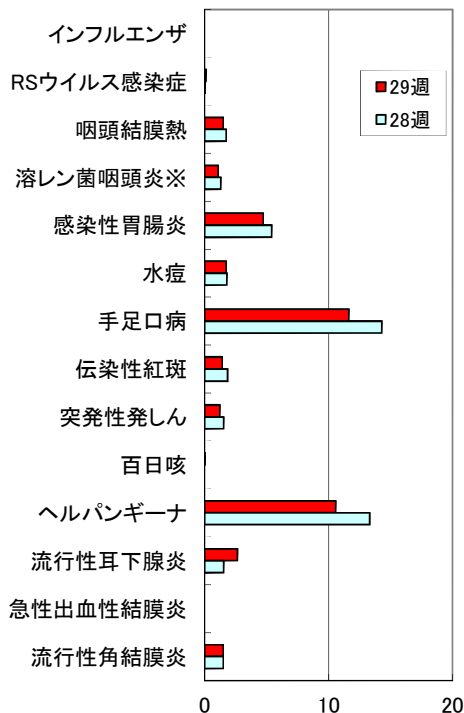
手足口病の報告数は419人(11.6)で前週比82%と減少したが、例年同時期の定点あたり平均値(3.6)の約3.2倍である。県全体で警報レベルを超えており、中央(16.0)、宮崎市(15.3)、

日南(14.3)保健所からの報告が多かった。年齢別では6ヶ月から3歳で全体の約8割を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は381人(10.6)で前週比80%と減少したが、例年同時期の定点あたり平均値(4.3)の約2.5倍である。県全体で警報レベルを超えており、小林(28.3)、延岡(19.3)、日向(11.5)保健所からの報告が多かった。年齢別では6ヶ月から3歳で全体の約8割を占めた。

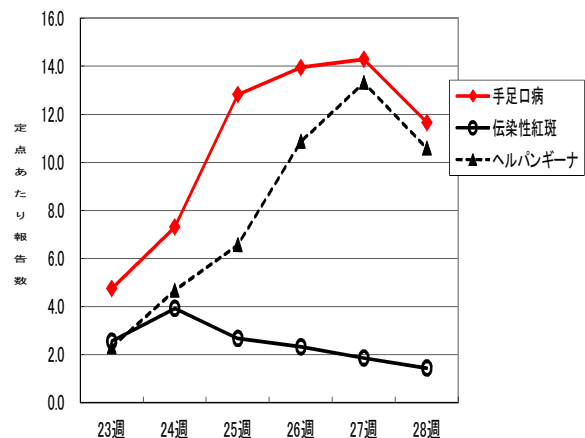
無菌性髄膜炎3人が宮崎市(2人)、日南(1人)保健所から報告された。患者は1ヶ月の男児2人と1歳の男児であった。

《前週との比較》



《定点あたり報告数》
※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

流行警報開始基準値超過疾患推移



□ 保健所別流行警報開始基準値超過疾患

保健所名	流行警報開始基準値超過疾患
宮崎市	手足口病(15.3)、ヘルパンギーナ(8.4)
都城	手足口病(7.3)
延岡	手足口病(11.3)、伝染性紅斑(4.3)、ヘルパンギーナ(19.3)
日南	咽頭結膜熱(3.0)、手足口病(14.3)、伝染性紅斑(2.7)、ヘルパンギーナ(8.3)
小林	手足口病(6.7)、ヘルパンギーナ(28.3)
高鍋	手足口病(11.5)、ヘルパンギーナ(6.3)
高千穂	なし
日向	咽頭結膜熱(6.0)、手足口病(12.8)、伝染性紅斑(2.8)、ヘルパンギーナ(11.5)
中央	手足口病(16.0)

□ 疾患別流行警報開始基準値超過疾患

	流行警報	定点あたり報告数		年 齢 分 布
	開始基準値	宮崎県全体	基準値を超えた保健所	
咽頭結膜熱	3	1.5	日向(6.0)、日南(3.0)	1歳～3歳で全体の約6割を占めた。
手足口病	5	11.6	中央(16.0)、宮崎市(15.3)、日南(14.3)、日向(12.8)、高鍋(11.5)、延岡(11.3)、都城(7.3)、小林(6.7)	6ヶ月～3歳で全体の約8割を占めた。
伝染性紅斑	2	1.4	延岡(4.3)、日向(2.8)、日南(2.7)	4歳～5歳で全体の約4割を占めた。
ヘルパンギーナ	6	10.6	小林(28.3)、延岡(19.3)、日向(11.5)、宮崎市(8.4)、日南(8.3)、高鍋(6.3)	6ヶ月～3歳で全体の約8割を占めた。

■ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症 : 報告なし。
- 2 類感染症 : 結核 6例が宮崎市・都城(各2例)、延岡・中央(各1例)保健所から報告された。
 《宮崎市保健所》・80歳代の女性で肺結核。咳、発熱がみられた。
 ・20歳代の男性で肺結核。

- 《都城保健所》 ・ 80 歳代の女性で結核性胸膜炎。咳、発熱がみられた。
 ・ 40 歳代の女性で肺結核及びその他の結核（リンパ節結核）。左頸部リンパ節腫脹がみられた。
- 《延岡保健所》 ・ 80 歳代の男性で結核性胸膜炎。痰、発熱、胸水貯留がみられた。
- 《中央保健所》 ・ 70 歳代の女性で肺結核。食欲低下がみられた。
- 3 類感染症 : 腸管出血性大腸菌感染症 1 例が宮崎市保健所から報告された。30 歳代の女性で無症状病原体保有者。原因菌の 0 血清型は不明（VT1 産生）。
- 4 類感染症 : 報告なし。
- 5 類感染症 : ○急性脳炎 1 例が宮崎市保健所から報告された。1 歳の女児で原因菌は HHV6。痙攣、立位不能がみられた。
 ○梅毒 2 例が宮崎市保健所から報告された。
 ・ 20 歳代の男性で早期顕症梅毒Ⅱ期。扁平コンジローマがみられた。
 ・ 60 歳代の男性で晩期顕症梅毒。ゴム腫がみられた。

■ 全国第 28 週の発生动向

定点医療機関あたりの患者報告総数は 27.4 で、前週比 108%と増加した。今週増加した主な疾患はヘルパンギーナと手足口病で、減少した主な疾患はインフルエンザであった。

ヘルパンギーナの報告数は 14,693 人（4.7）で、前週比 138%と増加した。宮崎県（13.3）、熊本県（9.5）、栃木県（8.7）からの報告が多く、年齢別では 1 歳から 4 歳で全体の約 7 割を占めた。

手足口病の報告数は 34,216 人（11.0）で、前週比 113%と増加した。佐賀県（39.7）、福岡県（37.2）、熊本県（30.3）からの報告が多く、年齢別では 1 歳から 4 歳で全体の約 7 割を占めた。

□全数把握対象疾患

- 1 類感染症 : 報告なし。
- 2 類感染症 : 結核 334 例
- 3 類感染症 : 細菌性赤痢 1 例、腸管出血性大腸菌感染症 80 例、パラチフス 1 例
- 4 類感染症 : オウム病 1 例、つつが虫病 1 例、デング熱 2 例、日本紅斑熱 2 例、日本脳炎 1 例、マラリア 1 例、レジオネラ症 20 例
- 5 類感染症 : アメーバ赤痢 9 例、ウイルス性肝炎 2 例、急性脳炎 1 例、クロイツフェルト・ヤコブ病 2 例、後天性免疫不全症候群 21 例、ジアルジア症 1 例、梅毒 8 例、破傷風 1 例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1 例、風疹 6 例、麻しん 7 例

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2011年 第29週(07月18日～07月24日)

疾病名		第28週	第29週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	2	4	1	2	1						
	定点あたり	0.06	0.11	0.10	0.33	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	63	55	4	5	4	9	1	8		24	
	定点あたり	1.75	1.53	0.40	0.83	1.00	3.00	0.33	2.00	0.00	6.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	47	40	6	3	8	3	2	5	1	10	2
	定点あたり	1.31	1.11	0.60	0.50	2.00	1.00	0.67	1.25	1.00	2.50	2.00
感染性胃腸炎	報告数	195	171	23	41	19	8	24	9	1	38	8
	定点あたり	5.42	4.75	2.30	6.83	4.75	2.67	8.00	2.25	1.00	9.50	8.00
水痘	報告数	65	63	9	10	22	3	8	4	3	4	
	定点あたり	1.81	1.75	0.90	1.67	5.50	1.00	2.67	1.00	3.00	1.00	0.00
手足口病	報告数	514	419	153	44	45	43	20	46	1	51	16
	定点あたり	14.28	11.64	15.30	7.33	11.25	14.33	6.67	11.50	1.00	12.75	16.00
伝染性紅斑	報告数	67	52	9	6	17	8		1		11	
	定点あたり	1.86	1.44	0.90	1.00	4.25	2.67	0.00	0.25	0.00	2.75	0.00
突発性発しん	報告数	56	44	11	9	6	4	4	4		6	
	定点あたり	1.56	1.22	1.10	1.50	1.50	1.33	1.33	1.00	0.00	1.50	0.00
百日咳	報告数		1			1						
	定点あたり	0.00	0.03	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	479	381	84	31	77	25	85	25	3	46	5
	定点あたり	13.31	10.58	8.40	5.17	19.25	8.33	28.33	6.25	3.00	11.50	5.00
流行性耳下腺炎	報告数	56	95	57	12	4	2	1	16		1	2
	定点あたり	1.56	2.64	5.70	2.00	1.00	0.67	0.33	4.00	0.00	0.25	2.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	9	9	4	1	4						
	定点あたり	1.50	1.50	1.33	0.50	4.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数	2	3	2			1					
	定点あたり	0.29	0.43	2.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2011年第1週～29週)

2類感染症	結核	159例(6)			
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	38例(1)			
4類感染症	A型肝炎	1例	チクングニア熱	1例	つつが虫病 2例
	日本紅斑熱	2例			
5類感染症	アメーバ赤痢	7例	ウイルス性肝炎	2例	急性脳炎 6例(1)
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	髄膜炎菌性髄膜炎	2例	後天性免疫不全症候群 6例
	梅毒	7例(2)	破傷風	6例	風しん 1例
	麻しん	1例			

●動物感染症累積報告数(2011年1週～29週)(参考)

指定感染症	鳥インフルエンザ(H5N1)の鳥類	20例
-------	-------------------	-----

()内は今週届出分、再掲